



取組名

赤ちゃんから高齢者まで、みんなで元気にしあわせに！ 市民みんなで人生トータルの健康づくり「はーとふるプラザ袋井」

受賞者

袋井市

所在地 ●〒437-0061 静岡県袋井市久能2515-1

電話 ●0538-84-7534

U R L ●http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/kenko_iryo/E-mail ●chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp

地域概要【静岡県袋井市】

取組の活動範囲：市区町村内の概ね全域
 総人口：87,174人
 65歳以上人口：19,286人(22.1%)
 75歳以上人口：9,037人(10.4%)
 一般世帯数：32,761世帯
 高齢単身者世帯数：2,474世帯(7.6%)
 高齢夫婦世帯数：2,515世帯(7.7%)

キーワード

多職種・多機関の連携体制構築、総合相談窓口、居場所づくり、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム設置

※平成28年度高齢者福祉行政の基礎調査

取組・事業の概要と特徴

多職種・多機関が連携した地域包括ケア拠点

■取組の概要

保健・医療・介護・福祉の各部門が集約した「袋井市総合健康センター（はーとふるプラザ袋井）」を、平成27年5月に地域包括ケアシステムの拠点として開設。施設内には行政機関の他、社会福祉協議会、聖隷袋井市民病院、休日急患診療室がある。誰もが住み慣れた地域で健やかに自分らしく暮らし続ける地域包括ケアシステムの実現のために、関係機関が連携しながら、地域住民と共に様々な健康づくりや介護予防などの活動を実施している。

■取組の特徴

① 施設内の行政部門と社会福祉協議会で連携し「総合相談窓口」を開設

保健師や看護師、主任介護支援専門員や社会福祉士など多職種を配置して、「心をこめた」総合相談を実施。相談内容により地域包括支援センターなどの関係機関と連携。

② 居場所「おんないカフェ」の実施

ボランティア「お元気サポーター」メンバーにより施設内の交流スペースで月に1回居場所「おんないカフェ」を実施。毎月20～30人ほどの参加がある。ひとり暮らしの高齢者や、時には赤ちゃんや子供連れのお母さんも参加。世代を超えた交流があり、開催日には市内の障がい者の授産施設によるパン販売も実施。

③ 施設内で月に一回認知症カフェ「はーとふるカフェ」を開催

保健師や看護師、ケアマネなど市職員の他、聖隷袋井市民病院の相談員（看護師）や認知症キャラバン・メイト、精神保健福祉士なども参加。認知症の方や家族、認知症について心配な方などが参加し参加者どうしの交流の場、相談の場となっている。

④ センター内に「認知症初期集中支援チーム」を設置

併設する市民病院との連携の強みを発揮して多職種がチームを組み、認知症が疑われる人や認知症状があるものの医療や介護保険サービスなどにつながらず困っている方などを訪問し、受診につなげたり、医療やサービスなどの導入につなげるなどの支援を集中的に行っている。



袋井市概要